

抗 HP1 γ /CBX3 抗体, ウサギポリクローナル, ChIP grade

70-225 50 μ g

保存: 4°Cもしくは-20°Cで送付。-20°Cで保存。

抗原: ヒト HP1 γ の C 末端のアミノ酸配列に対応する合成ペプチド **WHSCPEDEAQ-C**

形状: 精製 IgG 1mg/ml in PBS⁻, 50%glycerol, 濾過滅菌

反応性: ヒト及びハムスター。免疫原と同じ配列を持つマウス、ニワトリ、ツメガエル、ショウジョウバエと反応すると思われる。

用途:

- 1) ウェスタンブロッティング(1/1,000~1/10,000) (図 1)
- 2) 間接免疫染色(図 2, 文献 3)
- 3) クロマチン免疫沈降(CHIP assay)(文献 3)

背景: ヘテロクロマチンタンパク質 1 (HP1)はヘテロクロマチンの主要な構成成分で種々のタンパク質がクロマチン上に集合するためと遺伝子サイレンシングに重要な役割を担っている。HP1 ファミリーは進化上よく保存された複数のメンバーより成る。HP1 ファミリーのタンパク質は *chromobox (CBX)* 遺伝子群によってコードされ、HP1 γ は *Chromobox homolog3 (CBX3)* 遺伝子によってコードされている。HP1 γ タンパク質は多様な機能をもつ非ヒストンタンパク質と相互作用を持つ (1)。

データリンク: UniProtKB/Swiss-Prot [Q13185](#) (CBX3_HUMAN)

関連製品: #[70-221](#) 抗-HP1 α 抗体, #[70-223](#) 抗-HP1 β 抗体

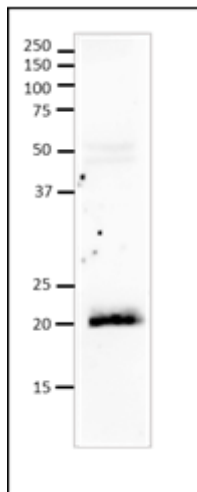


図 1 粗細胞抽出液中での本抗体を用いたウェスタンブロッティング法による HP1 γ タンパク質の同定。サンプルは HeLa 細胞
抗体は 1,000 倍希釈で用いた。

2次抗体は goat anti-rabbit IgG antibody, HRP-conjugated (ab205718)を 10,000 倍希釈で使用した。

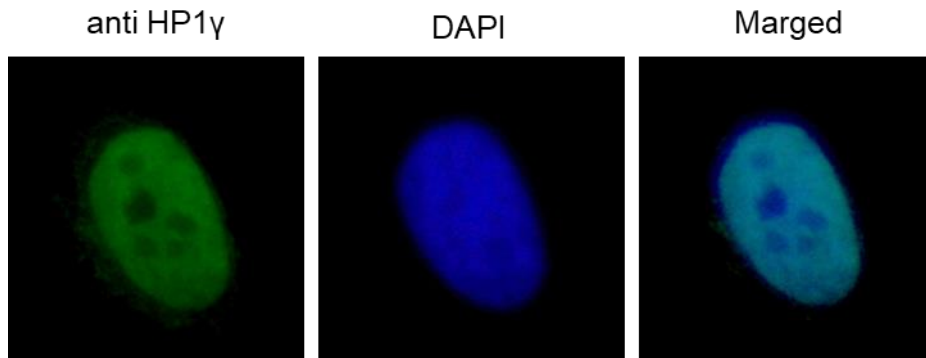


図 2 HeLa 細胞の HP1 γ タンパク質の本抗体を用いた間接免疫蛍光染色

細胞は paraformaldehyde で固定した。二次抗体は Alexa Fluor 488 結合抗ウサギ IgG ヤギ抗体 (ab150077, Abcam)。核は DAPI を用いた。

文献

1. Lomberk G *et al* "The Heterochromatin Protein 1 family." *Genome Biol* **7**: 228 Review (2006) PMID: [17224041](#)
2. Kametaka A *et al* "Interaction of the chromatin compaction-inducing domain (LR domain) of Ki-67 antigen with HP1 proteins." *Genes Cells* **7**: 1231-1242 (2002) PMID: [12485163](#)
3. Wang F *et al* "The assembly and maintenance of hetero-chromatin initiated by transgene repeats are independent of the RNA interference pathway in mammalian cells." *Mol Cell Biol* **26**: 4028-4040 (2006) PMID: [16705157](#)